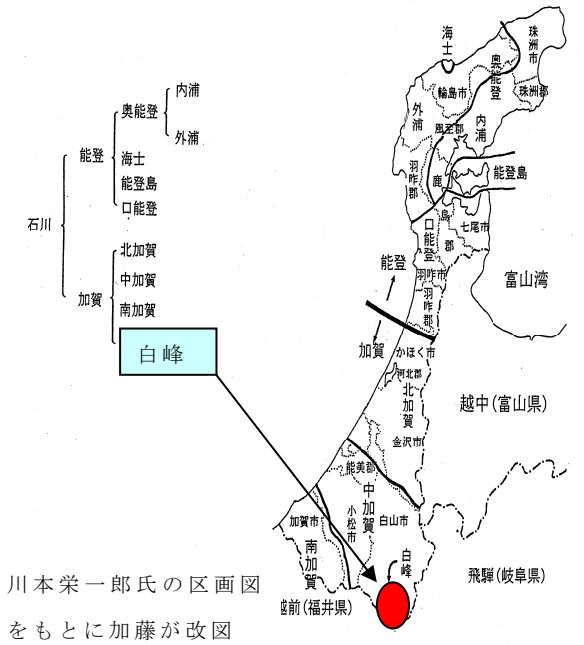


特色ある「白峰方言」の伝承と普及活動による地域づくり

学生団体名：金沢大学人間社会学域加藤和夫研究室

参加学生：上野洋次，桶田恵里，片岡岬，神戸愛，後藤悠子，高熊佑佳，本庄未来，松井翔子

石川県の方言区画図



1. 地域活動の概要

石川県方言の中でも周囲の方言とは異なる特徴を多く持つことで、研究者に“言語島”として知られている白山市白峰地区（旧白峰村）の方言（左図参照）は、テレビに代表されるマスメディアや広域合併などの影響で、共通語化や加賀方言化が進み、急速に衰退しつつある。

私たちは、白峰地区の生活を支えてきた生活文化としての方言を地域の人たち自身が見直し、伝えていくために、方言を様々な形で取り上げたイベント「白峰方言大会」を継続的に開催するとともに、「白峰方言検定」を実施するなど、方言を活用した地域づくりをめざすもの。

2. 今年度の地域活動の具体的な内容

- ・ 2009年7月31日（第1回打ち合わせ）
金沢大学で、白峰雪だるまの里協議会のメンバーと今年度活動内容の打ち合わせをし、昨年度「白峰方言大会」で行った「プレ方言検定」に続ける形で、今年度は独立した形で第1回「白峰方言検定」を11月23日に実施、また昨年・一昨年に続いて「白峰方言大会」を2010年2月21日に実施することを決定した。
- ・ 10月10・11日（第2回打ち合わせ）
加藤研究室の白峰ゼミ合宿に合わせて、白峰雪だるまの里協議会の有志と「白峰方言検定」実施までの役割分担などを確認する。
- ・ 10月～11月（「白峰方言検定」の方言関連問題を作成）
学生が分担して加藤教授監修の「白峰方言生活語彙辞典」を参考に方言関連問題案40問を作成。加藤教授の監修を経て30問に絞り込み、雪だるまの里協議会メンバー作成の白峰地域関連問題19問と統合。
- ・ 11月23日（第1回「白峰方言検定」実施）
白峰地域交流センターで実施。受験者約20名。80点以上の人に合格証を授与。
- ・ 2010年2月21日（「白峰方言大会2009」の開催）
学生11名と加藤教授が協力参加。安田アナ朗読の方言民話の選定とパワーポイント作成。

住民と金大・加藤研究室が作成 高い難易度 伝統凝縮した良問



問題内容について話し合う白峰雪だるまの里協議会と金大加藤研究室のメンバー

白峰方言 検定で親しみ

あす初実施

白山市白峰地域の方言は23日、白峰地域
言や歴史を問う白峰方言交流センターで開かれ
言検定(北國新聞社後援)。住民有志らでつく

同協議会は白峰のさ
まざまな地域資源に着
目し地域振興を図って
きた。近年は標準語の
浸透などで方言が失わ
れることに危機感を持
ち、独特の言葉の魅力
を「話し手」の住民が
理解し、地区外の人に
も親しんでもらおうと
方言検定を企画した。
昨年にプレ検定を実施
し、難易度や解答方式
を検証し今回の「本書」
に備えた。

問題は方言に関する

30題と歴史や文化に
関する19題からなる。
記述式の1問以外は
すべて選択式となっ
ている。高得点の参加
者には「白峰方言検
定認定書」が手渡され
る。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

加藤教授によると、
白峰は山間部に位置し
ほかの地域と交流が少
なく、古い時代に京都
などから伝わった言葉
が方言として独自に進
化したという。

同協会は来年も実施
予定で、初級や入門ク
ラスを設けるなど白峰
地区以外の人にも気軽
に参加できるように工夫
する。同協議会の山下
浩雅さんは「難易度は
高いが、白峰の伝統を
凝縮した良問に仕上が
った。問題を解きなが
ら白峰に親しんでほし
い」と意気込みを語っ
た。

銘酒仕込み 水くみ上げ

山代酒商組合

加賀市山代温泉の地
酒「純米酒やましろ」
を製造する山代酒商組
合は21日、薬王院温泉
寺で、酒の仕込み水と
なる井戸水をくみ上げ
た。



井戸水をくみ上げる関
係者。加賀市山代温泉
の薬王院温泉寺

① 第1回「白峰方言検定」実施前日の「北國新聞」(みなみ版)の記事

第1回「白峰方言検定」の実施(2009.11.23)

② 熱心に問題に取り組む参加者



③ 問題作成と当日の実施に学生が協力



2009年11月23日実施

第1回 白峰方言検定

<受験上の注意など>

(1) 問題は10ページで、全部で49問あります。前半の30問は白峰方言関連、後半の19問は白峰地域関連の問題です。

(2) 解答は別紙解答用紙に氏名とともに記入し、解答用紙のみを提出して下さい。問題用紙は持ち帰して下さい。

(3) 解答用紙には、(1)~(48)については設問ごとに正解と思う選択肢の番号を記入し、(49)については具体的に地名を書いて下さい。

主催：白峰雪だるまの里協議会 白峰公民館
協力：金沢大学加藤研究室
後援：北國新聞社

1

実際の問題から3問抜粋

1. 白峰方言関連問題(30問)

(1) 次の方言の中で一つだけ意味の違うものがありますが、どれですか。

① ウラ ② ギャー
③ ンナ ④ ギラ

(2) 味の表現で「アンニャ」とは次のどの意味ですか。

① 辛(からい) ② まずい
③ 甘い ④ 苦(にが)い

(5) 「ベツメ」と呼ばれる生き物は次のうちのどれですか。

① 蛙(かえる) ② 蛞蝓(なめくじ)
③ 虻(あぶ) ④ 泥鰌(どじょう)

<http://homepage3.nifty.com/yukidaruma-club/event2009.html> で問題を公開中


おもっしょいじゃあ じげ弁しま弁って

白峰方言大会

「ぎら・うら」「へんめ」「によこめ」「よしたい」「のいの」「しやんじやにやあ」「しちよる」「あーみや」「こそびや」「やーとろ」など、白峰の言葉には、独特の単語や表現、発音があります。これらの方言は白峰の大切な宝物であり、少しでも長く伝えていくためには、皆さんの理解が必要です。そこで、みんなで考え、みんなで楽しむ白峰方言大会を開催しますので、多数ご来場下さい。

日時 2月21日(日) 午後7時~9時
場所 白峰保育所

- 1 方言劇 「天狗まつり」
白峰保育所園児
- 2 金沢弁民話朗読 「弥七のママガラだいこ」「お銀小金」
安田真理さん(石川テレビ放送アナウンサー)
- 3 信濃大町弁民話朗読 「爺の雪形」
丸山慶子さん(エフエム石川アナウンサー)
- 4 方言漫才
ぶんぶんボウル(よしもとクリエイティブ・エージェンシー)
- 5 方言大喜利
ゲストと地域の皆さん





(主催) 白峰雪だるまの里協議会、白峰公民館、金沢大学加藤研究室

今年度「白峰方言大会」のプログラム

研究室では石川テレビ安田真理アナウンサーに朗読してもらった金沢方言の民話の選定と、朗読中に舞台上で映すパワーポイント作成を担当。当日の大会運営に協力。



白峰保育園児の方言劇「天狗まつり」

3. 地域活動に参加したことの意義

- ・地域イベントに関わることで、地域づくりに自分たちの力が大いに活用できることを認識できたし、方言を様々な形で取り上げることで、地域の文化や歴史などに自信を持つことが重要であることに気づかされた。
- ・方言イベント実施は、県内他地域の人たちにも方言に目を向けさせる可能性を秘めていることに気づかされたし、地域の若い人たちが方言のもつ魅力を見直し、上の世代の人と積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちが大切であることが理解できた。

4. 地域活動の継続と今後への課題

- ・3年間開催した「白峰方言大会」、さらに今年度から開始した「白峰方言検定」などの方言イベントを通して、地区内外の人たちに、特色ある白峰の方言をはじめ、白峰の文化・歴史に興味をもってもらう。特に「白峰方言検定」は、次年度はより多くの地区住民、特に若い世代の人に「白峰方言検定」を受験してもらえるように工夫する。
- ・最近調査が終わった白峰地区の屋号についての言語学的・方言学的分析に協力する。
- ・方言に関する専門知識を活かして、方言グッズの提案をし、作成に協力する。

5. その他（「白峰方言検定」「白峰方言大会」に参加した学生の感想から）

学生A：“方言”という身近な言葉だからこそ、分からなかったときの意外な悔しさや、“検定”として改めて接することでの新しい発見もあったのではないかと思う。70代の男性が検定後のインタビューに、「勉強不足で…」と答えていたのが印象的だった。白峰には方言だけでなく、地元を盛り上げようという雰囲気町全体から感じることができた。このような町で、“方言”が郷土愛とともに受け継がれていくと良いなと強く思った。

学生B：検定会場には当初予想していたよりも多くの人が集まり盛り上がっていた。今回は方言に関心のある年輩の受験者が中心であったが、受験後に、問題を持ち帰って家族にもやらせると言っていた方も多かった。そのようにして、方言によって家族や地域の交流が盛んになると素晴らしいと思った。次回の検定では、もっと若い受験者が増えて、年輩の方々と点を競い合うようになるとさらに盛り上がるだろう。今回の検定は、その可能性を十分感じさせるものであった。

学生C：白峰方言大会に参加し、とても貴重な経験ができた。当日は、保育園児たちによる方言劇、アナウンサーの方々による民話の語り、白山市出身のお笑い芸人の方の漫才やコント、地元有志による方言大喜利など、方言を身近に感じられる充実した内容でした。寒く冷え込んだ日にも関わらず、幅広い世代のたくさんの方が来場してくれた。方言は微妙なニュアンスをも的確に伝え、人と人の絆をより深いものにするあたたかみのある言葉であることを改めて感じた。研究室の仲間と地域の活性化に貢献できる活動を一緒に手伝うことができてよかった。

学生D：今回初めて参加したが、主催者側も来場者もとても活気があり、協力して白峰という土地で生活しているということが伝わってくる雰囲気だったのが印象的だった。石川県出身でもない私を温かく迎えてもらい嬉しかったし、民話のパワーポイント作成という形でお役に立つことができ光栄に思った。これからも研究室の一員として、白峰の地域おこしに関わっていきたいと思った。貴重な経験ができた。